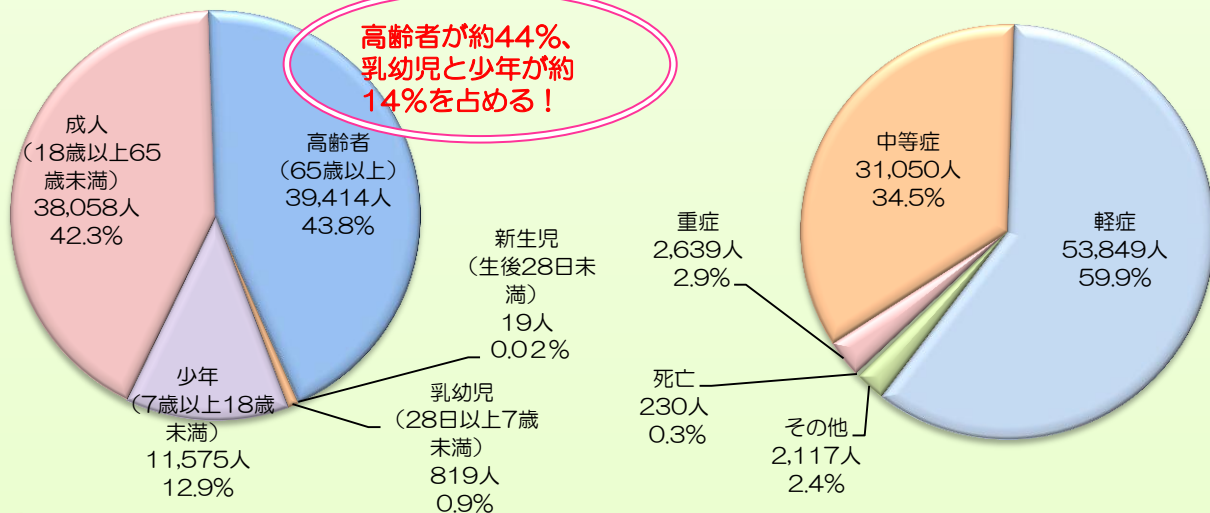


消防庁では、平成20年より夏期（7月～9月）における熱中症による救急搬送の全国調査を実施しています。年代別では、高齢者が4割を占めており、また、乳幼児と少年を合わせて1割以上となっています。

7月～9月の熱中症による救急搬送者の内訳（平成20年～平成22年合計）

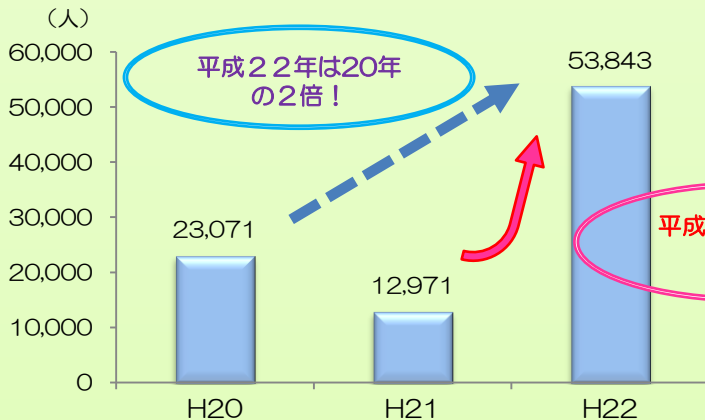
搬送人員計 89,885人



また、平成20年からの熱中症による救急搬送者数の推移をみると、記録的な猛暑だった平成22年は、平成20年の約2倍、平成21年の約4倍発生し、気温や湿度の上昇と関係があることが分かっています。

熱中症による救急搬送者の推移（平成20年～平成22年 7月～9月）

搬送人員計 89,885人



熱中症は予防ができる病気です。暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかり予防しましょう。心臓や腎臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。

◆ 消防庁では、HP上で熱中症の救急搬送状況調査の速報を週ごとに公表しています
消防庁HP「<http://www.fdma.go.jp/>」の右側の「熱中症情報」をクリック

参考

環境省:「熱中症環境保健マニュアル」http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html